

mmc NEWS

MEIDAI MASS-COMMUNICATION CLUB

発行 明治大学マスコミクラブ
〒101-8301
東京都千代田区神田駿河台1-1
明治大学広報課内 MMC事務局
電話 03-3296-4082
FAX 03-3296-4087
e-mail : mmc@meiji-mmc.sakura.ne.jp
発行人 齋藤 柳光
編集 馬淵 豊・梶野 雅秀

2009年 MMC、新体制でスタート

2009年明治大学マスコミクラブは1月28日、長堀守弘理事長、納谷廣美学長のご来臨をえた新年総会で「明治大学マスコミパワー結集！」と声高らかに宣言、始動しました。5月20、27両日に就職セミナーを開催、6月12日にマスコミ講座開講式を行うなど、愛する母校と現役学生のために総力を挙げ、創立10年目の充実を目指しています。そこで、MMC会員の皆様に齋藤柳光会長からあらためて協力を要請させていただきます。



MMC会長 齋藤 柳光

〈愛する母校への恩返しとマスコミ校友の絆〉。

なぜMMCを組織しているかを考える時、そう共感していただける方が少なくないと思います。マスコミ業界の特質を考え合わせると、打算や思惑があるわけもなく、尚更です。

マスコミは門戸が狭く、学閥などとは無縁だけに、その志を育んでくれた母校に、アイデンティティーを覚えるのかもしれない。だからこそ、我々は母校明治大学がわけても気になる校友なのではないかと思えます。

後輩に続いて欲しいという一念をよりどころに手弁当で始めた就職セミナーも14年目。明治大学という固有の名称が躍れば「も」ももなく反応する。本来は「個」をモットーとする者同士が異域同舟で懇親を深める。このような活動は何の対価も求めず積み重ねていく事実がそれを裏付けています。

岡野加穂留元学長(故人)の薫陶をえて創設され駿台ジャーナリ

ストクラブが駿台マスコミクラブとなり、校友団体昭和会の流れの中で結成された明大マスコミ会と、その名も明治大学マスコミクラブとして大同団結してちょうど10年目となります。

まさに節目の今年、すべての会員の方にあらためてMMCの活



性化のためにそれぞれがどう関わっていただけるのか考えていただければと思います。

母校はこのほど広報部門の大幅なテコ入れを行いました。時代の要請であるとともに、氷河時代といわれる人学減対策であることとはご推察の通りです。49万人校友の中でもとりわけマスコミ人の私たちに多くの期待が集まっていることはいうまでもありません。

就職活動への協力、教育、研究、スポーツ文化、そして躍進著しい国際舞台での活動等のメディア対策など、会員それぞれが力を貸せることは少なくありません。

もちろん、現業が第一、第三者でしかない我々の任意な活動には限界があります。だからこそ、MMCとして、複数団体が割拠する他大学とは違って一枚岩のマスコミ校友団体として、常に会員相互に親しく交流しつ強い絆で結ばれ、ひとたび母校や後輩の求めがあれば何らかの寄与できる。そのような会に皆様のコンセンサスで運営していきたいと願っています。

長々と申し上げましたが、この「会員の交流と大学への協力」は規約にも明記されておりあります。原点に還る、というのが私の一心です。何卒、本意をお汲み取りの上、よくしくお願い申し上げます。

2009年総会

10周年飾る来賓多数、齋藤新会長体制下で新たな一歩。



の母校出身者も駆け付けてくれました。

懇親宴も半ばでは、現役組の明大スポーツ取材スタッフが、見事に箱根駅伝で43年ぶりシード権を獲得した競走部の活躍を広報提供の写真を絡めながら中継アナウンスでこの人ありと謳われた松永二三男常任理事との掛け合いで生々しく解説し、いやがうえにも明治大学ムードを盛り上げました。

2009年総会は10周年目という節目もあって、多数駆け付けていただいたご来賓も加えると1000人を優に超す大盛況で、会場のリバイター「燦」はこれまでも増して熱気に包まれました。

長堀守弘理事長、納谷廣美学長がそろってご来臨いただいたのも初めてなら、日高憲三理事、米山勝美理事、高木勝教授、大野友和大学振興部長(現経営企画部長)など大学幹部がこれまでになく勢ぞろい。これに、衆議院議員の笹川堯、自由民主党総務会長始め、谷公、細川律夫の両衆議院議員や高橋千秋参議院議員ら政界



友好を深めている職域校友団体からは建設不動産駿台会の望月章次会長、全国黎明クラブの上西紘治会長もご臨席いただきました。

総会では会長として4年2期にわたって充実したMMCづくりにご尽力いただいた木村武氏から齋藤柳光新会長にバトンタッチ、規約改正に伴う新役員体制(別掲)や活動方針等も承認されました。会の中締めで肩を組み校歌を声高らかに斉唱し、より良い明治大学マスコミクラブの新たな歩を踏み出しました。



写真左より、谷衆議院議員、笹川自民党総務会長、長堀明大理事長、齋藤MMC会長

3年目のチャレンジ

2009年マスコミ講座、開講

昨年来からの就職氷河期のなか、講師陣と学生が新たな決意で臨む2009年度マスコミ講座が6月12日、スタートしました。



全体セミナー開催、2日間 延べ290名が参加

開講式に先立ち、マスコミ志望学生へ向けた毎年恒例の全体セミナーが5月20日・27日の2日間、リバティーホールで開催されました。初日にはこの春就任された大学就職キャリア支援部長永代達三氏に挨拶いただき、今年度がスタート。参加学生は昨年度より下回りましたが、この就職氷河期のなか、逆により真剣な学生たちの姿が目立ちました。

マスコミ講座開講

「二人でも多くの後輩を我々がマスコミ界に」を合言葉に、MMCマスコミ講座も3年目を迎えました。

昨年は途中から未曾有の就職氷河期に突入し、学生と共に大いに悩みました。しかし、今年も後輩たちの未来を信じ新年度に望



マスコミ講座開講式(6月12日)



マスコミ講座入室試験(6月7日)

みたいと思います。

入講した学生は一般職コースが59名、アナウンサーコースが16名。いずれもMMC主催の就職セミナーを受けての入室希望者です。

今年度の特徴は、毎週火曜日の全員参加のステップアップ講座と毎週木曜日の志望ジャンル別選択講座に分けたことです。

更に、学生との徹底したコミュニケーションをとりながら、まさにステップアップを目指したいと考え、講師陣もある程度はじめてから固定して半年間を学生と共に闘って行きたいと思っています。

内容的には、本講座の名物になりつつある博報堂佐久間英彰氏によるいわゆる「自分史」を作る自己分析年表作成ワークショップや伝統となるべき作文基礎講座に加えて、筆記対策講座やSPI対策など、より実践的カリキュラムを用意しています。

ミニ二歩でも近づいていたのだと思います。皆さんの会員先輩たちのご助力のおかげで、昨年より更に少しばかり進化するのではないかと期待しています。しかし、最後は学生二人のやる気と努力です。我々はただ後輩たちの背中を押して二歩前へ進む、「勇気」を与えているに過ぎません。

夏休みには夏季集中講座、後期に入ると、面接道場やエンタリースリート実践講座も加えて、マスコミ

マスコミ講座を終えて(2008年) MMMCのめざせろー!

厳しい就活戦線乗り越え、見事内定を勝ち取った2008年度マスコミ講座受講の4年生からお礼が届きました。おめでとう。しかし入社してからが本当の勝負、期待しています。

政治経済学部4年 小出朗



私がこのMMCに出会ったのは去年の今頃でした。アナウンサーという職業を志していたもののどうすればいいかわからない。そんな不安を抱えている時にこのセミナーに参加しました。そのセミナーで言われた「今、皆さんはマスコミに受かる可能性が100%ある。しかしそのパーセンテージは試験までに減っていく。それを減らさないために努力しなさい。」この言葉に喚起され私はMMCを受講しました。このような熱い言葉をかけてくれたのは明治大学という大き

情報コミュニケーション学部4年 田中耕太 (博報堂アイスタジオ内定)



「今、言いたいこと。」

2008年5月、あの時MMCのセミナーで感じたドキドキを、忘れてはなりません。あのドキドキがすべてのスタートでした。自分もあんな人になりたい。私にとつてマスコミで働きたいという

気持よりこの気持の方が強かったと思います。だからこそ今の自分があるのかもしれない。もちろん、「今」という場所までの道のりはきつかったです。就活中、しょっちゅう人から「やせた?」と聞かれました。その度に「違います。やつれたんです。」と答えていました。就活はつらかったです。しかし、絶対に結果をだせると信じていました。それは、MMCの講師の方々に多くの時間を費やしていただき、自分を見ていただいていたからです。感謝の言葉はいくら言っても言い足りないです。

自分が心から行きたいと思う企業から内定をいただいたこと。それはとても幸せなことだと思います。しかしそれよりも、就活中に心から尊敬できる人に出会えたというこの方が、私は幸せだと思います。

この場をお借りして、もう一度感謝の気持ちを伝えさせてください。ありがとうございます。本当にありがとうございます。そしてこれからもよろしくお願ひします。

政治経済学部4年 加藤佑佳 (バンダイ内定)



私は決して出来の良い学生ではありませんでした。今まで特別何かを成し遂げたわけでもなく、またあがり症のため人前で話すことが大の苦手でした。

そんな私が希望の企業に内定を貰えたのは、MMCのおかげに他なりません。元々私は出版志望で、MMCの門を叩きました。OBの方の貴重なお話を聞けたり、ES・面接講座により実践的な練習を重ねたことは、私の大きな力になったと思います。大変だったことといえば、出版社を受ける上で不可欠である作文には苦戦しました。「これ、つまらない」。このひと言で、私の闘志に火が付きました。私の作文で人をうならせることができるよう、何枚も自主的に作文を書いてはPHPの太田さんに見てもらっていました。

そんな努力が功を奏してか、出版社の作文含む筆記試験に落ちたことはありませんでした。結果的に出版社は駄目でしたが、MMCで様々な人と出会った自分の視野を広げたおかげで、自分の夢に近い企業に内定をもらえたのだと思います。この場を借りてお世話になった全ての方々に感謝の気持ちを伝えたいと思います。本当にありがとうございます。

黒田広報課長にインタビュ

MMCに期待する!!

MMCは任意団体ですが、本誌を大学内の広報課に置いていま... 四半世紀に及ぶ実績と強い母校との絆があればこそです。その広報課長にこのほど黒田仁一さんが就任しました。「MMCに期待します」という黒田課長に馬淵豊編集長がインタビュしました。



黒田 仁一

黒田仁一(くろだじんいち)
明治大学 経営企画部広報課課長
明治大学 法学部卒業。
1994年より同大学長室に在籍。
1998年 総合企画部、2005年
広報部を経て、2009年4月より
現経営企画部広報課長に就任

明治大学では、本年四月本学管理職異動に伴う人事で法人、教... 画部広報課長に黒田仁一さんが就任、このほど特にMMCへの期待と要望、並びに大学広報の今後について次のように語った。

明治大学は現在およそ3万人の学生を擁し、都会の私大認知度ランキングは早稲田に次いで80... 5%とランク2位に位置する勢を保っている。そんな中、新しく就任した黒田さんは大学側から見... たMMCについて以下のように述べた。「これからは『攻めの広報』として広報戦略本部を設置し、露... 出度を高めて『明治を売る』と同時... にネガティブ広報の二つをより重... 点的に進めることを基本とする... 」。そのためにはヒューマンネット... ワークの構築を強め約48万人校... 友の持つノウハウを積極的に取り... 入れる。従って目的意識のはつきりしたMMCのOB・OGとは、本... 学に設置されている就職キャリア

支援部と広報課とのトライアング... ル体制で連携し、より太いパイプ... を作ってゆきたいと考える。このよ... うな関係を保つべくフランクに話し... 合いの支援協力いただきたいのが私... の願いである。大学が変わるとき... は広報から変わっていく。荷は重い... が改革を急務とし学内情報は積極... 的に外部に発信する。

冒頭では、①統一した広報体制... の強化。②ヒューマンネットワーク... の構築。③広報戦略活動に基... づいたウェブサイトの再構築。④... 大学、入試両広報の三元化。⑤危... 機管理体制(リスクマネジメン... ト)の強化。以上5項目を広報戦... 略の柱に」と言葉を結んだ。
大学がめざす一人ひとりの夢に... 応える明治の就職支援は相談力... に定評ありといわれる。サンデー... 毎日によれば就職に力を入れている... 大学に明治がトップの座を縮める... 。MMCはマスコミ志望に応える... 学生への支援を更に強めたい。(聞... き手・馬淵豊 56年文)

昭和52年(1977年)卒業
同期リレーエッセイ

渡辺宜嗣さん(テレビ朝日)と川島宏治さん(中国放送)は1977年卒で、ともに放送研究会で今日を目指したマスコミ志望同期生です。大願成就した放送界の最前線で今もよきライバルとして明大パワーで競うお二人にリレーエッセイをお願いしました。

テレビ朝日キャスター
渡辺宜嗣
(昭和52年商学部卒)



「人の心」を汲みとる力

「月末最終金曜日、朝まで生... テレビの時間です」私のこのコメ... ントから始まる討論番組「朝ま... で生テレビ」は、放送開始から... 23年目に入りました。深夜の猛... 獣使用と称されるジャーナリス... ト田原総朗氏の仕切りで激論... を重ねること6月放送終了時... で267回、様々なテーマを掲... げこの国のありようを議論して... きました。「部落差別と人権」... 「原発問題」「天皇論」等それ... でTVで語られることのないな... ったタブーにも数多く挑戦して... きました。また、政治討論も主... 要なテーマのひとつです。生放送... というTVにおけるリング上で... 学者生命や政治家生命をかけ

で激論を闘わせる、まさに格闘... 技と同じで真剣勝負です。テー... マを設定し、リングに上がるパネ... リストを紹介する私の役目は、... 時々議論にも参加しますが、さ... ずめリングアナウンサーといっ... たところでしょうか。
さて、議論の展開に立ち合っ... ているとさまざまなものが見えて... きます。「議論の勝者が必ずし... も勝者ではない」という事です。... 異なる主張がぶつかりあい感情... をともなう激論となつた時、相... 手を論破した人は当然のこと... 以上に得意満面、してやっ... たりと表情を浮かべていてTVカメ... ラはそれを映し出します。しか... し、ここが落とし穴。その勝ち... 誇った表情はある分岐点を境に... して形勢を逆転させてしまうの... です。「何を偉そうに言っている... んだ」「お前はそこまで言える... 人間なのか」という感情をTV... を観ている視聴者に抱かせる事... になるのです。これこそ言葉、表... 情、人格を全て映し出してしま... うTVメディアの不思議であり、... かつ恐ろしいところなのです。... TVに限らずメディアにかかわ... る者は謙虚でなければいけな... い。いつも私はそう思っています... す。情報量も映像的環境も劇

(株)中国放送
取締役 報道制作局長
川島宏治
(昭和52年政経学部卒)



「先輩のつばやき」

テレビ朝日のナベ君とは大学... 4年間放送研究会でいっしょに... マーじゃんや酒、そしてほんの少... し放送について勉強したステキ... な仲間です。
そんな彼が「アナウンサーの... 採用試験を受けよう」と誘っ... てくれて、私もフラフラ受験した... 結果、幸運にも地元広島島の放送... 局へ勤めることになりました... が、放送局志望の原点は中・高... 時代に聞いていた深夜のDJ番... 組です。若者たちは深夜という... パーソナルな環境を十二分に活... かし、自己の存在確認と全国的... リスナーとの連携を深めていき... ました。
今思えば超アナログながら、... すでにインターネットの原型を... 形成していたのです。
私はスポーツ実況担当、その... 後テレビ情報番組のキャスター、... 経済番組のキャスターを経て現... 在は報道・スポーツ・映像・... 情報ワイドなどの責任者をして... いる関係で、入社試験の最終面... 接に立ち会う機会が多いので、... その感想を述べます。
今のマスコミ志望者諸君は大... 変真面目でよく勉強し、社会の... 動きにも精通しているのです... が、入社後は与えられた土俵内... で器用に仕事をこなすタイプが... 多く、自分の創意工夫でその土... 俵を広げていく人が少ないよう... に感じます。
20世紀は知識蓄積型の教育... が主流で1+1は2と決まってい... ました。しかしこれからは1+1... がゼロあるいは5にもなる不確... 実な時代に入り、コロンパスの卵... 的な発想が求められます。キー... ワードは柔軟性・コミュニケーション... ション能力・実践力です。つま... り様々な情報を柔軟な発想で... 組み合わせ、そのアイデアを... 人々に伝え醸成し具現化する... 作業の中から、ソフトパワーのイ... ノベーションが生まれます。
インターネットの普及に伴い、... ニュースも自分の興味のあるモ... ノという概念が定着するなか、... すべての事象にアンテナをめぐ... らし、鳥瞰俯瞰の目で見て、かつ... 自分で考える訓練をして下さ... い。そんな人材をこれからの社... 会が必要としています。
今度上京したら後輩たちと... 大いに語り合いたいですね。

ゴルフコンペ成績表(オネストジョン方式)

2009.3.27 相模C C

順位	氏名	グロス	申告スコア	調整スコア	正直度
優勝	目賀田武蔵	140	120	120	0
2位	林 光繁	85	81	81	0
3位	佐々木共成	88	85	86	1
4位	中根薫	95	85	86	1
5位	齋藤柳光	109	98	100	1
6位	堀威夫	102	88	91	3
7位	山田祐司	114	99	102	3
8位	西口 宏	112	100	104	4
9位	大西 敏勝	103	89	94	5
10位	楡 郁太郎	98	85	90	5
11位	木元 尚男	112	88	96	8
12位	堀口 博史	106	87	97	10
13位	大林 龍彦	130	97	110	13
14位	茂木達郎	102	84	97	13
BB	久保田 暉平	98	96	94	-2
BM	木村 武	106	98	95	-3



武内裕林観桜ゴルフコンペ報告

三月二十七日、桜らほらら。今年も暖冬で開花が異常に早いと思われたが、開催日の三月中旬から寒さが逆戻り、開花がストップ、花見ゴルフとしては残念な結果となった。

大穴、目賀田武蔵氏初優勝 下見の効果は絶大

意外や目賀田氏はこのコンペの出席率はきわめて良い。但し、プレー中もあの強面の顔は崩さず「オレはゴルフは付き合いでやっていくんだ」という風に実にまらなそうにプレーする。(少なくとも他人からはそう見える)

ところが今回はひそかに優勝を狙っていたことが判明した。噂によると氏は前日、相模カントリー倶楽部に見学に来ていたらしい。しかもプレーはせずに朝食だけ食べて帰ったとのこと。

その甲斐あつてか、めでたく初優勝を遂げ、京都清水焼陶芸家武内裕林氏の優勝杯を獲得した。折りしも、その武内氏が銀座で恒例の作品展を開催しており、コンペの翌日その会場を訪れられそうに優勝報告をしららしい。



観桜コンペ初優勝の目賀田氏。

初参加、山田祐司氏

今回山田祐司氏が初参加された。どうやら目賀田氏に勧められ(脅かされ)急遽参加することになったらしい。発展途上なので今後の活躍が期待される。MMC監査役 楡 郁太郎(64年商)

参加者大募集中

今回は恒例秋のコンペです。是非皆さまの参加をお待ちしています。

幹事・楡 郁太郎

(申込連絡先 090-2247-1211)

2009年 MMC役員

会長	齋藤 柳光
副会長(総括)	馬淵 豊
	目賀田 武蔵
	中谷 範行
副会長(大学等渉外担当)	阿部 剛巳
副会長(組織・広報担当)	本村 隆
常任理事(全国展開)	林 光繁
	川島宏治
	宮脇 渉
	与那覇 博明
常任理事(就活講座)	大林 龍彦
	服部 真樹
常任理事(企画事業)	和田 哲郎
常任理事(出版)	内田 正彦
	米澤 仁治
	太田 智一
常任理事(新聞)	大串 英明
	古満 美千子
	山本 敦
常任理事(放送)	鈴木 美香
	山川 栄一郎
	倉林 敦夫
	茂木 達郎
常任理事(アナウンサー)	松永 二三男
	日高 充
	鈴木 純子
常任理事(広告)	正盛 和彦
	吉井 章夫
常任理事	中根 薫
(制作・エンターテイメント)	山田 祐司
	須藤 和幸
常任理事(事務局)	岩本 成利
	柳沢 克行
	市村 和雄
	梶野 雅秀
	堀口 博史
	澤田 慎介
常任顧問	木村 武
顧問	渡部 哲寛
	吉川 英司
	木元 尚男
	坂本 哲郎
	堀 威夫
	中森 久之
	竹内 貞男
	河合 貞八郎
	兵頭 福雄
	諸根 靖忠
	大西 敏郎
	香川 東洋男
	楡 郁太郎
	猪野 慎吾
監査役	

MMC会員近況

●銅谷志朗会員が著書出版

テレビ朝日で「大相撲ダイジェスト」を長らく担当した銅谷志朗さんが、このほど「大相撲の魅力 相撲アナが語りつくす」を心交社から出版しました。40年近い取材経験と今なお両国国技館内で放送される「どすこいFM」キャスターなどで相撲をこよなく愛する筆者は、「多くの人に少しでも相撲に興味を持ってもらえれば」と話す。スキヤンダルばかり目立つ昨今、本当の相撲ファンに贈りたい一冊だ。1,575円。

●波多野さんに男児誕生

おめでとうございます！波多野里奈さん(元青森朝日放送)が5月18日、第子を出産されました。ご主人の仲洋二郎さんの報告によると、3165g、49・9cmの立



瓶仁ちゃんを抱く波多野さん。

派な男の子。このほど瓶仁(へいじん)と命名。ご夫妻が昨年の北京五輪に行かれたあとに授かったことで、「オリリンピックのエネルギーをもらえたお陰という感謝の気持ちを込めた」そうです。「日々表情に変化があり成長を見守ってます」と里奈さん。メンバーにお披露目いただける日が楽しみです。お健やかに。

●年会費納入のお願い

MMCは、明治大学からマスコミ界に進んだ皆さまの職域校友活動です。自主運営により、会員の意欲と皆さまの年会費が原動力となっております。恐れ入りますが、未納の方は左記の口座にお振込いただきましたたく、よろしくお願ひ致します。

- 〔郵便振替〕
- 口座記号番号 00130-4-762631
- 加入者名 明治大学マスコミクラブ
- 〔銀行振込〕
- みずほ銀行 九段支店 (普)口座番号：1694508
- 口座名義 明治大学マスコミクラブ

母校明治の近況

明治大学は4月22日付で機構改革を行い、わがMMCが事務局をおく広報課がある部が、これまでの大学振興部の名称から経営企画部になりました。大野友和部長のもと広報課長はインタビューに応じてくれた黒田さん、またわれわれ49万人の卒業生の窓口である大学振興課もその名が校友課となり、高村潤さんが課長にそれぞれ新任されました。今後ともよろしく願ひます。

編集後記

先日、新たに会報編集に参加された馬淵編集長から初期の会報を見せていただく機会がありました。振り返れば初代「SJCニュース」(駿台ジャーナリストクラブ)発行から27年、当時の無骨とも思える活版刷りの紙面にそうそうたる先輩ジャーナリストたちの顔ぶれを見ると、今更ながらに歴史の重みを感じます。

さて現在、印刷もデジタル化時代になりました。紫紺まばゆい「MMCニュース」をよろしく。(梶野雅秀)